

令和7年度 第2回学校関係者評価委員会
兼 信頼される学校づくりのための委員会

- ◎日時 令和7年11月6日(水)
◎会場 C24教室
◎参加者 評価委員・校長・教頭・事務長・4部主任・学年主任・学校評価係
◎会順 10:00～開会のことば・校長より
10:05～教職員自己評価(中間)報告
10:10～各主任より中間反省に対する口頭説明
(教務部) (生徒指導部) (進路指導部) (保健部) (各学年主任)
10:25～質疑・応答、意見交換
10:45～授業参観
11:30～閉会

◎委員からの感想等(まとめ)

(意見) 令和8年度入学生からコースが一新することは、中学生に少しずつ認知されていきているようだ。しかし、私立高校は中学生に対して様々な媒体を使って、その学校の魅力を発信している。枕崎高校の新しいコースは、県立高校の中では珍しいものもあるので、さらに中学生にアピールしてほしい。ポスターもカラーで作成するなど工夫も必要である。

(質問) 保健部の中間反省に、保健室を利用する生徒が微増しているとあった。どれくらい増えているのか、またその生徒たちに対応するのは誰なのか教えていただきたい。

(回答) 2学期に少しずつ増えてきたため、養護教諭や担任・副担任を中心に聞き取りをしたり、カウンセリングを勧めたりしている。また、気づいた教員が授業の前後で声掛けをすることもある。カウンセリングを継続して受けている生徒もあり、今後も見守っていく必要がある。これまでと同様に、全職員で生徒の見守りや声掛けを徹底して行っていく。

(意見) 今年度の体育祭は午後まであり、見応えがあった。特に、借り物競争や玉入れは、生徒が楽しんでいる様子を見るだけでなく、保護者や同窓会、地域の方々も参加し、十分楽しむことができた。他校では、生徒数が多いからか、生徒は、徒競走ともう1競技しか参加できないというところもある。熱中症のリスクもある中での準備、運営は大変であると思うが、来年度以降も体育祭をこのような形で実施してほしい。

(質問) 新しいコースを中学生にアピールして、7月実施の中学生1日体験入学の参加者の数に変化はあったか。

(回答) 令和6年度の1日体験入学の参加者は、第1回・第2回合わせて30名前後であったが、令和7年度は80名前後であり、とても活気があった。7月にはインスタグラムも開設し、中学生にとって身近な媒体を用いて、本校の魅力を中学生に伝えることができる体制が整いつつあると思う。志望校決定まで、できる限りPRを続けていきたい。

(意見) 1学年の中間反省に、学年の教員が団結し、日々の困難に対処しながらも、時に笑い飛ばすことがあるとあった。多様化が進む時代に、様々な生徒たちを指導・支援するのはとても労力を必要とすることであると思う。今後も、教員が団結し、生徒一人ひとりと向き合ってもらいたい。